

## 会 議 録

会議の名称	中学校再編に係る地域説明会（津山地域）	
開催日時	令和4年10月13日（木）	
	午後7時00分開会	
	午後7時40分閉会	
開催場所	津山老人福祉センター2階 集会室	
事務局（教育委員会）氏名	教育長	小野寺 文晃
	教育部長	小林 和仁
	次長兼教育総務課長	菅原 正博
	次長兼学校教育管理監	飯川 弘芳
	学校再編推進室長	白岩 登世司
	学校再編推進室長補佐兼学校再編推進係長	千葉 道宏
	学校再編推進室 主査	西條 文武
	学校再編推進室 主事	佐藤 春香
参加者数	15人	
事務局	開会 午後7時00分	
教育長	挨拶	
事務局	配布資料に基づき「中学校再編の考え方及び今後の進め方」、「中学校再編準備委員会の設置」について説明	
事務局	意見交換・質疑応答	
参加者	東部地域の中学校について、エアコンの設置状況と耐震補強はどのような状況になっているか。	
事務局	<p>エアコンについては、市内小中学校で、全教室ではないが、設置は済んでいる。耐震補強などについて、津山中学校では耐震補強を平成18年度に、大規模改修を平成21年度に実施している。</p> <p>登米中学校については、昭和60年建築となっており、年数は他の中学校と比較して新しいため、耐震補強と大規模改修を行っていない。</p> <p>東和中学校については、耐震補強と大規模改修を平成9年に実施している。</p>	
参加者	中学校の適正規模、適正配置について、生活指導面に高い効果を得られる全校で18学級までとするとあるが、生活指導面での効果について何かデータはあるのか。	
事務局	適正規模については、文部科学省の手引きを参酌し、より学習・生活指導面に高い効果を得られる各学年2学級以上、全校で18学級までとしている。生活指導面の効果についてのデータは持ち合わせていない。	
参加者	教育委員会の説明を聞くと、校舎が古くなったから、また、子どもたちが少なくなったから、統合するということに聞こえる。学校統合することによって、生活指導面、学習面でもいろいろな効果が得られる、また、こういう効果もあるというものがあれば、より良いと思う。ただ年数的に校舎が古くなった	

	<p>から、生徒が少なくなったからという考えでは、子どもたちの教育について、考え方が違うのではないかと思う。</p> <p>通学も1時間かかるとあるが、登下校において問題があるのではないか。こうするとこうなるというデータが欲しい。</p>
事務局	<p>小規模校だと、クラス替えができない、中学校の場合は部活に支障をきたすこともあり、保護者からもそういう声がある。</p> <p>通学時間は、概ね1時間となっているが、スクールバスも運行して時間短縮に対応していきたい。</p>
参加者	<p>小学校の再編状況について説明</p>
事務局	<p>閉会 午後7時40分</p>